

# 市民国際プラザ・ダイジェスト

## 特別号

### 12/17,18 大阪で「国際協カステップアップ・ワークショップ」を開催しました！

<共催：(財)自治体国際化協会、(特活)関西国際交流団体協議会>

このワークショップは、日頃接点の少ない自治体・地域国際化協会・国際協力NGOの関係者等が一堂に集い、相互理解を深める場として開催するもので、今回は、「ソーシャル・ビジネスが進化させる国際協力活動」をテーマに開催しました。

【日時】2010年12月17日(金)10:00-19:00  
18日(土) 9:00-14:00

【会場】大阪国際交流センター

【対象】自治体、地域国際化協会、NGO/NPO、国際関係機関の関係者、ソーシャル・ビジネス事業者、企業・大学関係者、関心ある一般市民・学生等 約30名

【共催】(財)自治体国際化協会、  
(特活)関西国際交流団体協議会

【後援】(独)JICA大阪国際センター、大阪府、大阪市、堺市、  
(特活)国際協力NGOセンター

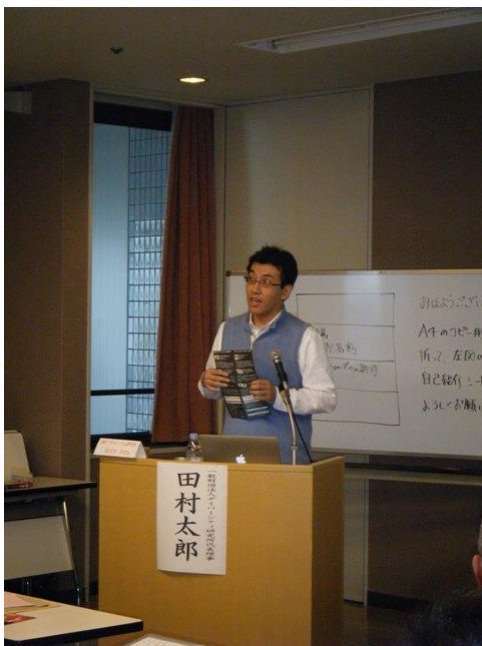
【協力】(社福)大阪ボランティア協会、(特活)関西NGO協議会、  
(特活)きょうとNPOセンター、近畿ソーシャルビジネス・  
ネットワーク、(般財)ダイバーシティ研究所、  
(財)大阪府国際交流財団、(財)大阪国際交流センター

【ファシリテーター】

田村 太郎氏 (一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事)

【事例発表】

- ・地域の多文化共生とハイチ支援の取り組み
- ・岡山県西粟倉村の林業と地域を再生させる戦略的取り組み
- ・ユネスコ・デザイン都市の意義と神戸市の取り組み
- 「issue+design」プロジェクトについて
- ・途上国で活躍できる人材を育成するとともに地域医療崩壊を食い止める国際保健人材育成プログラム



これまでステップアップワークショップは東京で開催してきましたが、今回は初めて大阪で開催しました。大阪開催という事で、関西のネットワークNGOである(特活)関西国際交流団体協議会との共催で行いました。

当日は自治体・協会・NGO・企業関係者22名の参加があり、セクターを越えての意見交換を行いました。

1日目の、田村氏の基調講演では、「マルチステークホルダー社会」についてお話いただき、地域や世界の課題を解決していくためには、1対1の協働(パートナーシップ)だけでなく、多対多の総働(マルチステークホルダー)が必要である、という提案がありました。2日目は、各地域の国際協力・課題解決の事例が紹介されました。

後半のグループディスカッションでは、各地域の課題を共有し、「マルチステークホルダー型」でその課題をどう解決していくべきか、話し合われました。

今後は自治体とNGOの連携の場だけではなく、企業・大学・生協・労働組合などの様々なセクターが一緒になって、課題に取り組むための場を、つくる必要性を感じました。

(財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail [international\\_cooperation@plaza-clair.jp](mailto:international_cooperation@plaza-clair.jp)